

## 1 子ども食堂交流会 -夜の部-

昨年12月12日、県内の子ども食堂交流会を開催しました。今回は「夜の部」ということで、おいしいごはんを囲んで、大盛り上がり！

それぞれの子ども食堂でのうれしかったこと・困ったことを話したり、運営するなかでの工夫・アイデアを出し合ったり、お互いの子ども食堂を見学し合う約束をされていました。この場で出会われた食堂さん同士でコラボして、子ども食堂を開催されることになったり…いつまでもお話を尽きません！

みなさん、楽しい時間を過ごしながら、横のつながりをしっかりつくれただける場になったのではないかと思います。



## 2 フリースペースが県内 12ヶ所にひろがっています



社会福祉施設等を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」。週に1回、子どもたちがボランティアさんや施設職員さんと一緒に、ご飯を食べたり、お風呂に入ったり、宿題をしたり遊んだり、夜のだんらんの時間を過ごしています。

3月11日に、県内のフリースペース交流会を開催しました。実施している施設職員、ボランティア、行政や社協の職員が集い、子どもとの関わり方について学び合い、日頃の活動について情報交換を行いました。「食べ物の好き嫌いが多い子にどう関わっている?」という問いかけに対し、「一口大作戦! 食べず嫌いには効果が絶大★」などの実践からのアドバイスや、「関係機関との連携をどう進めていけばいいか」など、悩みや工夫を伝えました。

また、「フリースペースの活動をどう伝えていけばよいのか…」という声から、3月には「フリースペースガイドブック」も発行しました。はぐくみホームページからぜひご覧ください！

## 3 プロフェッショナルセミナー 児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり

社会的養護\*のもとで暮らす中高生の子どもたちを対象に開催しているプロフェッショナルセミナー。多様な分野の働く大人から、「はたらくこと」「生きること」についてお話をうかがいます。6月15日に開催したセミナーでは、11企業・18名の方のお話を28人の子どもたちが聞き、企業の方への質問や交流を行いました。子どもたちからは「仕事はとても大変、でも楽しそうだった!」「私も大人になったら自分の仕事にほこりを持てるようになりたいと思った」などの声がありました。県内の企業の方々の協力のもと、子どもたちが地域の大人と関わるあったかい雰囲気のなか、夏休みの仕事体験につながるセミナーとなりました。

\*…保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、児童養護施設、里親制度、ファミリーホーム（小規模住居型児童養育事業）などで社会的に養育すること。

### 【発行・お問い合わせ】

滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会



〒525-0072

滋賀県草津市笠山7丁目8-138

TEL 077-567-3924 FAX 077-567-5160

MAIL shiga-hug@shigashakyo.jp



子どもの笑顔はぐくみプロジェクト  
ホームページはこちらから!  
(<http://shiga-hug.jp>)

子どもの笑顔はぐくみプロジェクト ニュースレター

# はぐくみ通信

vol. 2

2019.6発行  
滋賀県社会福祉協議会

「子ども食堂だより」をリニューアルしました！

## 子どもの笑顔 はぐくみプロジェクトへの あたたかいご支援をありがとうございます

これまでにたくさんの方々が応援してくださいています！ (2018.11.16 ~ 2019.3.31分)

### ●モノでのサポート

#### JA バンク滋賀信連さま

近江米

昨年度に引き続き、すべての子ども食堂とフリースペースにお米を提供していただきました！



#### 株式会社 セブン-イレブン・ジャパンさま

食品や雑貨類など

改装した店舗の在庫  
合計34箱をご寄贈いただきました。



#### 公益社団法人 滋賀県宅地建物取引業協会青年部会さま

うまい棒

すべての子ども食堂・  
フリースペースにお渡しできるようにと、  
合計3,600本いただきました！



### ●お金(金品)でのサポート

一般財団法人 近畿陸運協会様/富士産業株式会社 ふじっこ青空ファーム様/有限会社 伴自動車様/今関信子様/長谷川すみ香様/川畠豊明様/康和会様/株式会社ベストーネ様/中澤明様/すみれ薬局様/築地春香様/滋賀県民共済生活協同組合様/手づくりグループ様/山田幸枝様/JA バンク滋賀信連様/池田正清様/岡田茂吉研究所様/一般社団法人 楽育チッチ様/滋賀県医師協同組合様/株式会社 平和堂様/匿名8名

みなさまからいただいたご寄付は活動の中で  
大切に使わせていただきます。

#### インズ株式会社さま

子ども食堂リーフレットの作成

10,000部、作成していただきました！  
子ども食堂のPRイベント等で配布させて  
いただいている！



#### 富士産業株式会社

ふじっこ青空ファームさま

小松菜・白菜



#### NPO YORISOInetworkさま

大根・かぶ・キャベツ

子ども食堂やフリースペースのみなさ  
んにお渡しさせていただきました！

#### 個人の方 お米 合計60kg

### ●体験の提供でサポート

#### カゴメ株式会社 大阪支店さま

子ども食堂実践者研修会での

調理実習



### ●その他でサポート

#### 株式会社平和堂さま

子ども食堂応援募金



#### BAR MIXOLOGY SHIGAさま

チャリティカクテルパーティーの開催

このパーティーでの  
売上げ(経費を除く  
すべて)をご寄付い  
ただきました！



# みんなあつまれ！／ 子ども食堂 大交流会

## 近藤さん\*の あつたかトーク

### ■ きっかけは、週末限定の宅配ハ百屋でした。

2008年、歯科衛生士だった私は縁あって週末限定の宅配ハ百屋をはじめ、その後「気まぐれハ百屋だんだん」を開店しました。八百屋に来るお客様を通じて、これまで知らなかった地域の様子が見えてきました。

自分の子どもが勉強が苦手で、知り合いの教員OBの方に相談したら勉強を見てくれることになり、それなら他の子も一緒に、「ワンコイン寺子屋」をはじめ、その後、無料の学習スペースを提供する「みちくさ寺子屋」をはじめました。そこで私はおやつの担当になり、食べ物は人の心を和ませる力があると感じました。

2年が経ち、近所の小学校の先生から「シングルマザーの家庭で朝晩のご飯がバナナ1本の子がいる」という話を聞き、切ない気持ちになったことを記憶しています。そこで「この八百屋であったかいご飯をみんなでわいわい食べたら、元気になるんじゃないかな」と、知り合いに声をかけて始めようと思いましたが、すぐには始められませんでした。

1年後、その家庭の子どもが児童養護施設に入ることになったという話を聞いて、何もできなかつたことをすごく後悔し、2012年に見切り発車ではありましたが、「気まぐれハ百屋だんだん こども食堂」を始めることにしました。

### ■ 「気まぐれハ百屋だんだん こども食堂」はこんなところ！

メニューは当日に決めるようにしています。八百屋にあるもの、いただきものができるもの…それはどの家庭の食卓でも同じですよね。

また、さまざまな事情で参加費を払えない子もいます。そこで試行錯誤をして、300円で隔週開催から、100円で毎週開催に、そしてワンコインで利用してもらうことにしました。ワンコインは1円でも5円でも、日本円じゃなくても、おもちゃのお金でもいいので、中の見えない貯金箱にコインを1枚入れてもらうんです。

### ■ 子ども食堂に来る理由は、100人いれば100個ある。

忙しさや嫌なことをふと忘れられるのが子ども食堂なのかなと思います。大事にしているのは、困りごとが深刻になって黄色や赤信号になる前に「助けて」と言える雰囲気づくりと、「自分たちにできないことはできる人につなげる」というネットワークづくりです。大人がつながること、そしてその姿を子どもたちに見せることも大事だと思っています。

子ども食堂に来る理由は、100人いれば100個あります。その理由を私たちがジャッジする権利はありませんし、来た人みんなを受け入れることがよいと思っています。

大きなことはできませんが、まずは目の前の人の困りごとをどう解決しようかと考えることが、一つひとつの活動につながっています。

子どもや地域の人の笑顔が真ん中にある地域づくりのために、どんな人にも何かしらできることができます。そうやって子ども食堂をみんなの活動にしていけたら…。そのためにも、一人ひとりが気づくこと、そして気づける場所がたくさんできることができ大事だと思っています。



子ども食堂の名付け親と言われている「気まぐれハ百屋だんだん こども食堂」の近藤博子さん（東京都大田区）をお迎えし、滋賀の子ども食堂に関わる方が集い交流を深めた「みんなあつまれ！子ども食堂大交流会」を開催しました。

子ども食堂の実践者やいつも応援いただいているスポンサーのみなさま、子ども食堂に関心のある方など9の名の方が参加してください、笑顔やつながりがひろがる、あたたかな交流会となりました。

その中の、近藤さんと滋賀の実践者が子ども食堂への想いを語り合う「あつたかトーク」から、心があつたくなるメッセージを紹介します。



「気まぐれハ百屋だんだん こども食堂」  
\*近藤博子さん

2012年夏に東京都大田区で「こども食堂」を始め、子ども食堂の名付け親といわれています。  
3児の母で歯科衛生士。「気まぐれハ百屋だんだん」では子ども食堂の他にも子どもの学習支援や地域の交流の場などを日替わりで実施されています。

緑のはらべっこ食堂  
(草津市)  
今村 崇志 さん

## みんなで あつたかトーク

### ■ 子ども食堂を通じて出来たつながりに感謝！

学校や家庭以外に地域に居場所があればいいなと思ったことがきっかけで「アモーレ子ども食堂」を、小学校の職員室でご飯を食べている牛乳アレルギーのある子の「みんなと一緒に食べたい」という気持ちに胸を打たれ、食物アレルギーに対応した子ども食堂「smile door」を立ち上げました。

食堂では地域の方々のつぶやきに耳を傾けています。ここでのつぶやきがきっかけで放課後教室の開催、ふれあいマーケットでのブース出店、看護学校の生徒とコラボなど、子ども食堂を通じて、つながりができたことに感謝しています。

アモーレ子ども食堂 /  
smile door (甲賀市)  
殿城 弘子 さん

### ■ 味見も子どもたちが担当！

子どもは自分のやりたいことや遊びを通じて成長すると思っていて、子ども食堂はそういう場をつくることを目的に始めました。

草津市は「人の良さは日本一！」と思えるくらいあたたかいまちで、いろんな人の後押しや困ったときに助けてくれる雰囲気の中で実施しています。

食堂では子どもたちと一緒に朝から食事をつくって、味見も子どもたちが担当。「任せる」ことは勇気がりますし、手を出したい気持ちを抑えることもあります。

でも、子どもたちの持つ力を信じることで信頼関係が生まれますし、そこに学びがあると思います。

普段お世話になっている方々にお礼がしたいと、子どもたちがイベントも企画してくれました。



緑のはらべっこ食堂  
(草津市)  
今村 崇志 さん

### ■ 非日常的な経験も盛りだくさん！

高島市には旧町エリアで住民福祉協議会があり、子どもや高齢者の居場所づくりなどに取組んでいます。以前参加した子ども食堂に関する説明会で、当時市内に食堂が1つもなかったということを知りました。子どもの居場所づくりにはなかなか取り組めていませんでしたが、子どもや高齢者の「孤食」という問題を考えるうちに、子ども食堂のような取り組みが大事だと思い、始める 것을決めました。

食堂では地域の旬の農作物を食べたり、今まで炊いたご飯を食べたり、餅つきをしたり…。非日常的な経験も盛りだくさん。実施ごとに反省会をすることで継続に繋げたいと思っています。

また、高島市は広くて過疎化が進んでいる地域もありますので、将来的には出前食堂もできればいいですね。

新旭駅前ふれあい食堂 /  
新旭子ども食堂 (高島市)  
森田 一男 さん

### ■ 自然に会話が生まれるのが子ども食堂！

ファミレスへ行っても、隣のテーブルの人と会話が生まれたりしないですね。「おいしいね」とか自然に会話ができるのが子ども食堂だと思います。

子ども食堂っていうなんとかつながらないとやつていいと思っています。違いを指摘し合うのではなく、お互いに高め合えるつながりをつくるいくことが、続けていくためには大事かなと思っています。

遊べる・学べる  
淡海子ども食堂が  
**115ヶ所に**  
なりました!!  
2019年3月現在

子ども食堂のみなさんから  
いただいたコメントを紹介します★

おふくろの味で、肉じゃがの大盛がアツアツで出てきたとき、子どもたちが歓声をあげてよろこんでくれました。うれしかったですね。

子どもの学習支援と居場所づくり  
in のぞみ食堂【大津市】

6年生の女子が多く参加し、大変にぎやかな食堂になりました。部活が終わってから、参加してくれた中学生の先輩に、いろいろ相談事や愚痴など聞いてもらっていました。

出会い食堂♥よっといで～♥【大津市】

あるお母さんから「家では絶対にんじんを食べないので(6歳の息子さんが)今日は難なく食べた」と喜んでくれた。どのご家族さんも「子どもがびっくりするほど食べた」とびっくりされていました。

のびっこ子ども食堂「いしでら」【彦根市】

今回より高校生ボランティアが一人加わってくれて、雰囲気がまた明るくなった。

花明かり食堂【栗東市】

出欠を知らせる紙に、お母さんから「お忙しいのに子ども達のためにありがとう！」のメモ書きがついていた。

ふか輪っ子【甲賀市】

だれもが100円を支払ってふれあい食堂に参加できる仕組みが定着、参加者のみなさんが会話をされている姿があり、居心地のよい居場所となった。

新旭駅前ふれあい食堂【高島市】

たんぽぽ食堂には二つの小学校から子どもたちが参加してくれています。この食堂をとおして仲良くなっているのがうれしいです。

たんぽぽ食堂【甲賀市】